

(2) 水質の状況

1) 河川

対象事業実施区域及びその周辺における主な河川の公共用水域の水質調査は、小川町及び東秩父村の2河川9測定地点で行われており、その位置は図 3-1-2-4 に示すとおりである。測定結果は表 3-1-2-5 及び表 3-1-2-6 に示すとおりである。

埼玉県による平成30年度における槻川の兜川合流点前の調査結果は、pH及び大腸菌群数が環境基準に不適合であった。小川町及び東秩父村による令和元年度の調査結果は、各項目で環境基準に適合していた。

なお、平成30年度調査にてダイオキシン類調査地点に該当した地点はなかったため、平成29年度の調査結果を示している。

表 3-1-2-5(1) 河川の水質測定結果（埼玉県調査地点（平成 30 年度））

水域名		槻川						
		①兜川合流点前（B・生物B）						
地点名		最小値	最大値	平均値	75%値	x/y	環境基準	
		生活環境項目	pH	7.9	9.1	8.3	8.3	3/12
DO(mg/L)	8.5		13	11	9.4	0/12	5mg/L以上	
BOD(mg/L)	<0.5		2.6	0.9	0.9	0/12	3mg/L以下	
COD(mg/L)	1.6		5.1	2.9	3.2	12	-	
SS(mg/L)	<1		15	3.0	2	0/12	25mg/L以下	
大腸菌群数(MPN/100mL)	1300		220000	48500	49000	9/12	5,000MPN/100mL以下	
全窒素(mg/L)	1.1		1.8	1.3	1.3	4	-	
全燐(mg/L)	0.045		0.11	0.074	0.074	4	-	
全亜鉛(mg/L)	0.002		0.015	0.005	0.005	0/12	0.03mg/L以下	
ノニルフェノール(mg/L)	<0.00006		<0.00006	<0.00006	<0.00006	0/6	0.002mg/L以下	
LAS(mg/L)	0.0015		0.015	0.012	0.012	0/12	0.05mg/L以下	
健康項目	カドミウム(mg/L)		<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0/4	0.003 mg/L以下
	全シアン(mg/L)		N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0/4	検出されないこと
	鉛(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0/4	0.01 mg/L以下	
	六価クロム(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0/4	0.05 mg/L以下	
	砒素(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0/4	0.01 mg/L以下	
	総水銀(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0/4	0.0005 mg/L以下	
	PCB(mg/L)	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0/2	検出されないこと	
	ジクロロメタン(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0/2	0.02 mg/L以下	
	四塩化炭素(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.002 mg/L以下	
	1,2-ジクロロエタン(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0/2	0.004 mg/1L以下	
	1,1-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0/2	0.1 mg/L以下	
	シス-1,2-ジクロロエチレン(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0/2	0.04 mg/L以下	
	1,1,1-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0/2	1 mg/L以下	
	1,1,2-トリクロロエタン(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0/2	0.006 mg/L以下	
	トリクロロエチレン(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0/2	0.01 mg/L以下	
	テトラクロロエチレン(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0/2	0.01 mg/L以下	
	1,3-ジクロロプロペン(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0/2	0.002 mg/L以下	
	チウラム(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0/2	0.006 mg/L以下	
	シマジン(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0/2	0.003 mg/L以下	
	チオベンカルブ(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0/2	0.02 mg/L以下	
	ベンゼン(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0/2	0.01 mg/L以下	
	セレン(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0/2	0.01 mg/L以下	
	硝酸・亜硝酸性窒素(mg/L)	0.7	1.6	1.2	1.5	0/12	10 mg/L以下	
ふつ素(mg/L)	<0.02	0.09	0.05	0.05	0/12	0.8 mg/L以下		
ほう素(mg/L)	<0.02	0.03	0.03	0.03	0/12	1 mg/L以下		
1,4-ジオキサン(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0/2	0.05 mg/L以下		

注1：表中の番号は図 3-1-2-4 に対応する。

注2：地点名の（ ）内は類型を示す。

注3：「x」は環境基準に適合しない日数を示す。「y」は総測定日数を示す。

出典：「平成 30 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（令和 2 年 5 月、埼玉県環境部水環境課）

表 3-1-2-5(2) 河川の水質測定結果（小川町調査地点（生活環境項目・令和元年度））

河川名		槻川					兜川		環境基準
地点名		②渡戸前(B)	③館川合流点下流(B)	④矢岸橋上流(B)	⑤萬世橋上流(B)	⑥日の出橋上流(B)	⑦北川橋上流(-)	⑧上八幡橋上流(-)	
pH	—	8.4	8.3	8.2	8.0	7.9	7.9	8.4	6.5~8.5
BOD	(mg/L)	0.6	0.5	0.5	0.5	0.8	1.4	1.4	3以下
SS	(mg/L)	1	1	1	1	1	4	3	25以下

注1：表中の番号は図 3-1-2-4 に対応する。

注2：値は年間平均値。

注3：地点名の（）内は類型を示す。

出典：「広報おがわ 令和2年4月号」（令和2年4月、小川町役場総務課）

表 3-1-2-5(3) 河川の水質測定結果（東秩父村調査地点（生活環境項目・令和元年度））

水域名		槻川					
地点名		⑨萩平川合流点下流（B・生物B）					
		最小値	最大値	平均値	75%値	x/y	環境基準
生活環境項目	pH	7.9	8.5	8.3	8.1	0/4	6.5以上8.5以下
	DO (mg/L)	9.6	12.4	10.9	11.5	0/4	5mg/L以上
	BOD (mg/L)	<0.5	0.7	0.5	0.5	0/4	3mg/L以下
	SS (mg/L)	<1	1	1	1	0/4	25mg/L以下
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	330	4900	2730	4900	0/4	5,000MPN/100mL以下
	全窒素 (mg/L)	0.78	1.2	1.0	1.1	4	—
	全磷 (mg/L)	<0.05	0.05	0.05	<0.05	4	—
	全亜鉛 (mg/L)	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0/4	0.03mg/L以下
	ノニルフェノール (mg/L)	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	0/4	0.002mg/L以下
	LAS (mg/L)	<0.0006	0.0006	0.0006	0.0006	0/4	0.05mg/L以下

注1：表中の番号は図 3-1-2-4 に対応する。

注2：地点名の（）内は類型を示す。

注3：「x」は環境基準に適合しない日数を示す。「y」は総測定日数を示す。

出典：東秩父村保健衛生課ヒアリング

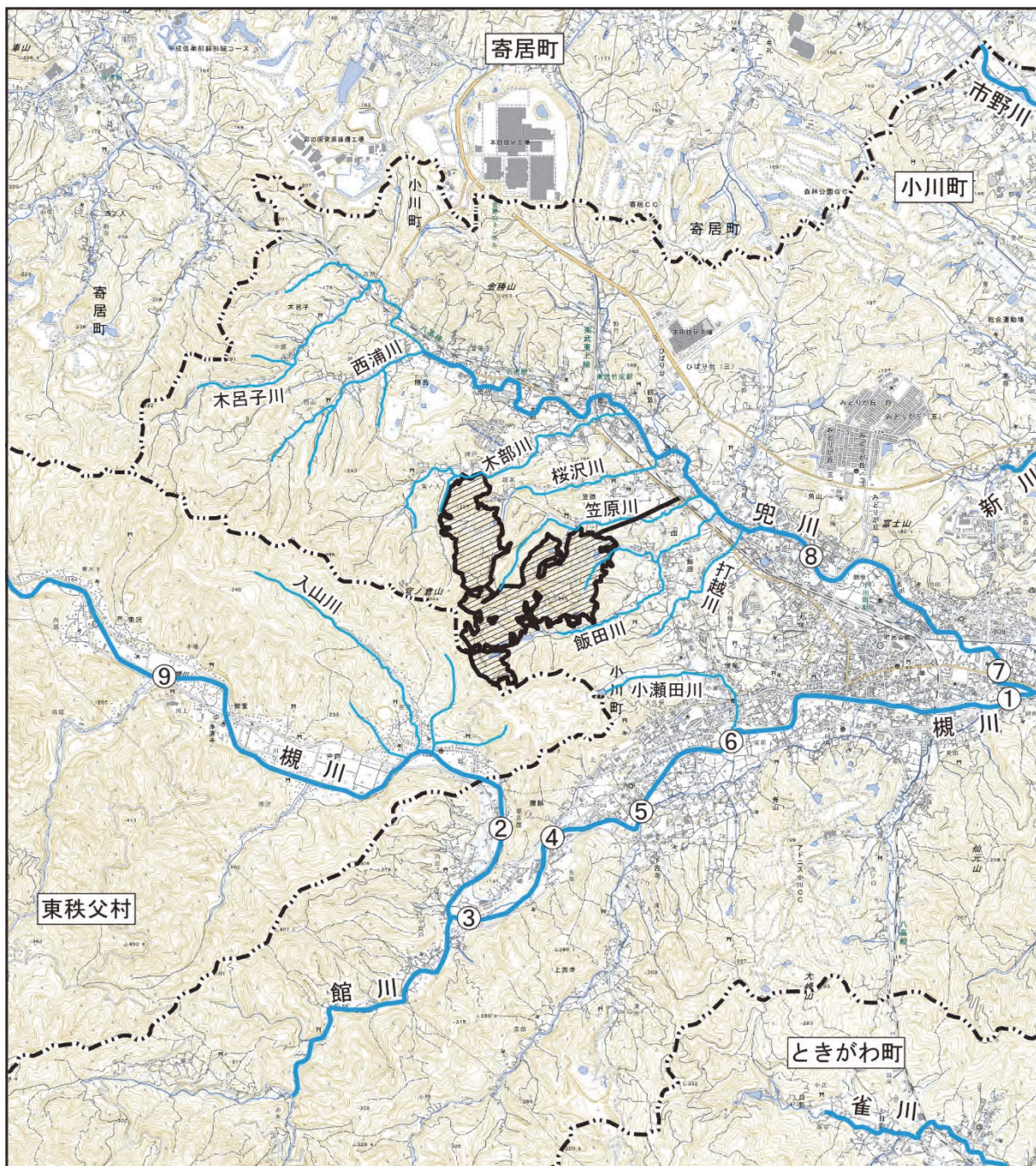
表 3-1-2-6 河川の水質測定結果（ダイオキシン類（平成29年度））

水域名	地点名	調査結果 (pg-TEQ/L)	環境基準 (pg-TEQ/L)	適否
槻川	①兜川合流点前	0.014	1	○






注1：表中の番号は図 3-1-2-4 に対応する。

出典：「平成29年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」

（令和元年3月、埼玉県環境部水環境課）



凡 例

-  対象事業実施区域及び関連施設
-  町村界
-  一級河川
-  河川
-  ①～⑨ 水質調査地点



1:50,000

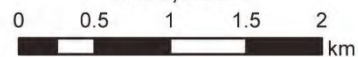


図 3-1-2-4

水質測定地点位置図

注：図中の番号は表 3-1-2-5、表 3-1-2-6、表 3-1-2-8 に対応する。

2) 地下水

関係町村における平成 30 年度の地下水の調査結果は、表 3-1-2-7 に示すとおりである。

関係町村では 5 地点で概況調査が、2 地点で継続監視調査が行われている。

概況調査について、全ての項目において環境基準を超過した地点はなかった。また、継続監視調査について、寄居町用土地区における硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度が環境基準を超過していた。

なお、平成 30 年度調査にてダイオキシン類調査地点に該当した地点はなかった。

表 3-1-2-7(1) 地下水の調査結果（概況調査・平成 30 年度）

区分	調査地点数	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		ふっ素		ほう素	
		検出地点	基準超過地点	検出地点	基準超過地点	検出地点	基準超過地点
小川町	2	2	—	2	—	2	—
ときがわ町	1	1	—	1	—	0	—
東秩父村	0	—	—	—	—	—	—
寄居町	2	2	—	1	—	1	—
地下水環境基準値	(mg/L)	10 以下		0.8 以下		1 以下	

注 1：「—」は検出されなかったことを示す。

出典：「平成 30 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（令和 2 年 5 月、埼玉県環境部水環境課）

表 3-1-2-7(2) 地下水の調査結果（継続監視調査・平成 30 年度）

町名	地区名	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)
地下水環境基準値		10.0 以下
寄居町	用土	11.0
	富田	7.4

注 1：太数字は基準値超過を示す。

出典：「平成 30 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」

(令和 2 年 5 月、埼玉県環境部水環境課)

3) 水質にかかる苦情の発生状況

対象事業実施区域が位置する小川町において、令和元年度における水質汚濁に関する公害苦情は表 3-1-1-9 に示したとおり 1 件であった。

(3) 水質の底質の状況

平成 29 年度において対象事業実施区域及びその周辺では、ダイオキシン類について実施されており、調査結果は表 3-1-2-8 に示すとおり、環境基準を下回っている。

表 3-1-2-8 河川の底質測定結果（ダイオキシン類(平成 29 年度)）

水域名	地点名	調査結果(pg-TEQ/g)	環境基準(pg-TEQ/g)
槻川	①兜川合流点前	0.18	150

注 1：表中の番号は図 3-1-2-4 に対応する。

出典：「平成 29 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」

(平成 31 年 4 月、埼玉県環境部水環境課)

3-1-3 土壌及び地盤の状況

(1) 土壌の状況

1) 土壌汚染の状況

埼玉県では、農用地の土壌汚染状況を把握するため、銅、砒素、カドミウムについての調査を昭和46年から5年に一度行っており、調査結果は表3-1-3-1に示すとおり、いずれの項目も環境基準を達成している。

表 3-1-3-1 農用地の土壌汚染状況調査の分析測定結果

単位：mg/kg

調査年度		調査地点の分析測定結果											
		土壌中（乾物）								玄米中（現物）			
		銅 （環境基準値 125mg/kg）				砒素 （環境基準値 15mg/kg）				カドミウム （環境基準値 0.4mg/kg）			
		最高	最低	平均	調査地点	最高	最低	平均	調査地点	最高	最低	平均	調査地点
一巡目	(S54~57) 全県	32.3	0.1	11.3	90	11.8	tr	1.9	90	0.37	0.02	0.11	46
二巡目	(S59~62) 全県	23.6	0.1	9.0	90	5.3	tr	1.4	90	0.30	nd	0.09	48
三巡目	(H元~4) 全県	21.6	0.3	9.3	90	8.0	tr	1.8	90	0.38	tr	0.09	46
四巡目	(H6~9) 全県	28.7	0.2	9.4	87	13.1	tr	2.2	87	0.30	tr	0.06	31
五巡目	(H11~14) 全県	30.8	0.1	11.2	180	11.3	0.1	2.0	180	0.28	tr	0.09	50
六巡目	(H16~19) 全県	21.5	tr	8.9	180	6.4	0.1	1.7	180	0.31	tr	0.06	47
七巡目	(H21~24) 全県	21.7	tr	9.5	165	7.9	tr	1.7	165	0.22	tr	0.03	43
八巡目	(H26~29) 全県	25.5	0.1	9.1	118	10.5	0.2	2.5	118	0.29	tr	0.05	31
九巡目	(R元) 全県	24.4	0.9	13.4	29	8.1	0.4	3.0	29	0.13	0.02	0.06	11

注1：ndは検出限界以下を、trは極微量検出を示す。

注2：県農業技術研究センターの分析測定結果で、昭和58年、63年、平成5年、10年、15年、20年、25年、30年は各調査巡の取りまとめ年である。

出典：「有害物質等の実態を把握するためのモニタリング調査」（令和2年10月、埼玉県農林部農産物安全課 HP）

2) ダイオキシン類

埼玉県では、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく土壌の常時監視測定を行っている。

関係市町村では、平成 22 年度にときがわ町において土壌中のダイオキシン類の常時監視測定を行っており、その常時監視結果は表 3-1-3-2 に示すとおりである。いずれも環境基準を達成している。

表 3-1-3-2 土壌中のダイオキシン類の常時監視結果（平成 22 年度、ときがわ町）

単位：pg-TEQ/g

調査区分	調査年度	調査地点		調査結果
一般環境把握調査	平成 22 年度	ときがわ町	明覚小学校	0.0003
			五明地域運動場	10

注 1：環境基準は 1,000pg-TEQ/g 以下である。

出典：「土壌常時監視結果ダイオキシン類」（令和 2 年 8 月、埼玉県環境部水環境課 HP）

3) 土壌汚染にかかる苦情の発生状況

対象事業実施区域が位置する小川町において、令和元年度における土壌汚染に関する公害苦情はなかった（表 3-1-1-9 参照）。

(2) 地盤の状況

1) 地盤沈下の状況

関係町村においては、地盤の精密水準測量調査が行われており、調査結果は表 3-1-3-3 に、調査地点は図 3-1-3-1 に示すとおりである。

過去5年間の地盤標高の変動量は-1.2～+1.2mmの範囲で沈下あるいは上昇している。

表 3-1-3-3 地盤標高の変動量の推移

町名	基標 番号	所在地		調査 開始 年月日	各年別変動量(mm)					過去5 年間の 変動量 (mm)	調査 開始年 からの 変動量 (mm)	令和2 年1月 1日の 真高 (T.P.) (m)
		町(字)名	目標		平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和 元年			
小川町	56-03	小川 377	小川小学校	S57. 1. 1	-0.4	-0.1	-1.2	-0.1	+1.2	-0.6	-33.4	86.4883

注1：基準番号は図 3-1-3-1 に対応する。

注2：各年1月1日の値を前年値と比較した。

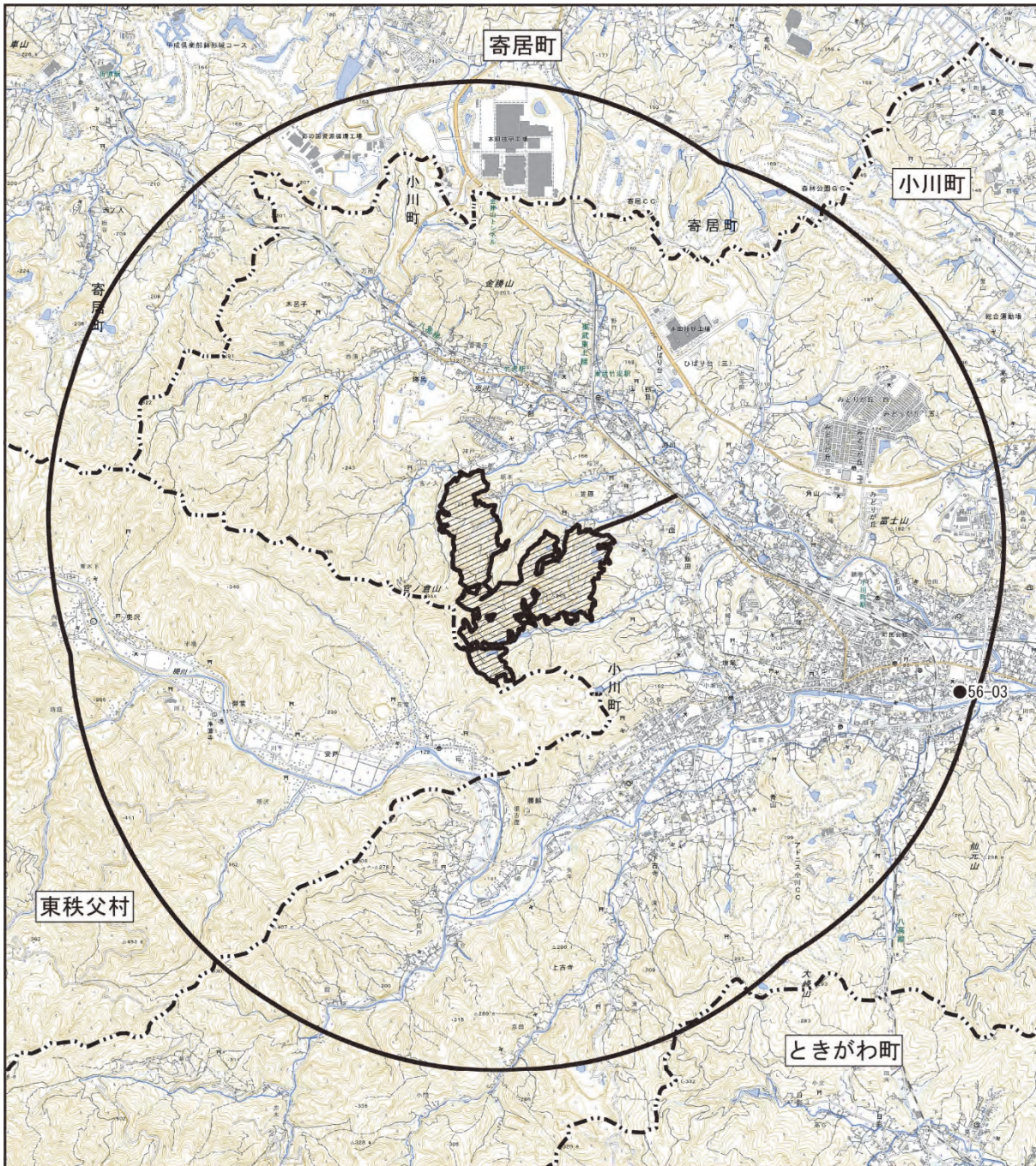
注3：変動量は、－記号が沈下を、＋記号が上昇を表す。

注4：過去5年間の変動量、及び、調査開始年からの変動量は、各年別変動量の累計を表す。





出典：「令和元年度水準測量成果表等について」（令和元年8月、埼玉県環境部水環境課 HP）

2) 地盤沈下にかかる苦情の発生状況

対象事業実施区域が位置する小川町において、令和元年度における地盤沈下に関する公害苦情はなかった（表 3-1-1-9 参照）。



凡 例

-  対象事業実施区域及び関連施設
-  町村界
-  対象事業実施区域外周より半径 3.0 km
-  水準点



1:50,000

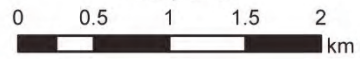


図 3-1-3-1

地盤標高の変動量
調査地点位置図

注：図中の番号は表 3-1-3-3 に対応する。